

# 社 会

(中学校第 1 学年)

## 注 意

- 「始め」の合図があるまで、中の問題を見てはいけません。
- 下の欄に、組、出席番号、名前を書きなさい。
- 「始め」の合図があったら、別に配られている解答用紙に、組、出席番号、名前を書き、「A問題（基本）」から始めなさい。
- 問題用紙は、全部で 12 ページあります。  
「A問題（基本）」は、8 ページで、問題は **5** まであります。  
「B問題（活用）」は、4 ページで、問題は **2** まであります。
- 問題に取り組む時間のめやすは、「A問題」が 25 分、「B問題」が 20 分です。  
時間に気をつけて解きなさい。  
早く終わったら、先に進んで解いても、もとにもどって解いてもかまいません。
- 答えは、解答用紙の決められた場所に、はっきりと書きなさい。
- 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげなさい。  
問題の内容などの質問には答えられません。

	問題番号	時 間
A 問題（基本）	<b>1 2 3 4 5</b>	25 分
B 問題（活用）	<b>1 2</b>	20 分
合 計		45 分

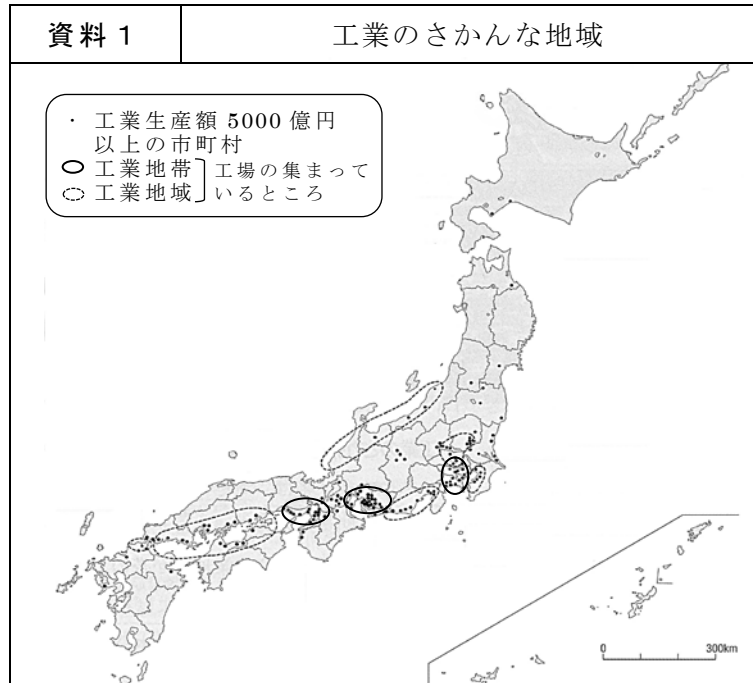
1 年	組	番	名前
-----	---	---	----

# A 問題

時間（25分）

1 涼香さんは、日本の工業の特色を学習しました。次の1，2の問いに答えなさい。

1 涼香さんは、資料1を参考に、レポートを作成しました。涼香さんのレポートの  に当てはまる語句を答えなさい。ただし、 には同じ語句が入ります。



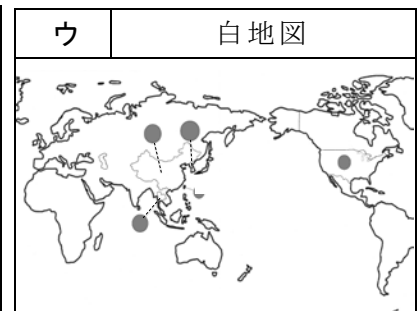
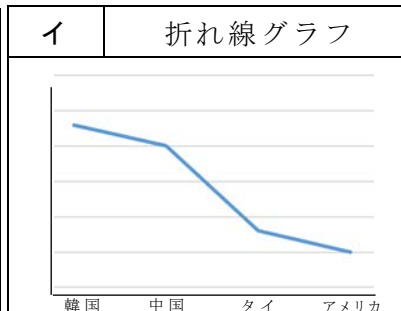
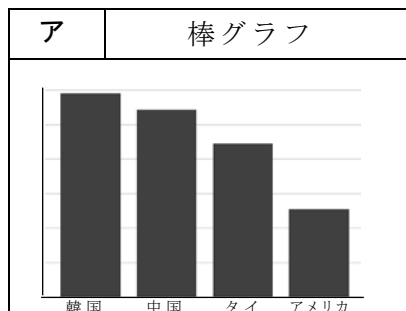
涼香さんのレポート

日本の主な工業地帯や工業地域は、海ぞいに広がっている。なかでも、関東地方の南部から九州地方の北部にかけては、工業地帯や工業地域が帯のように広がっており、 とよばれている。 の工業生産額は、日本全体の2分の1以上をしめている。しかし、最近では、高速道路が広がり、内陸部にも工業地域が広がるようになっている。

2 涼香さんは、日本の製鉄所でつくられた鉄の輸出先について調べ、資料2をまとめました。資料2のおもな鉄の輸出相手国と、その輸出額のまとめ方として、適切でないものを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

資料2	おもな鉄の輸出相手国と輸出額(2012年)	
	輸出相手国	輸出額
	韓国	5911 億円
	中国	5440 億円
	タイ	4450 億円
	アメリカ	2543 億円

（「地図統計資料」より作成）

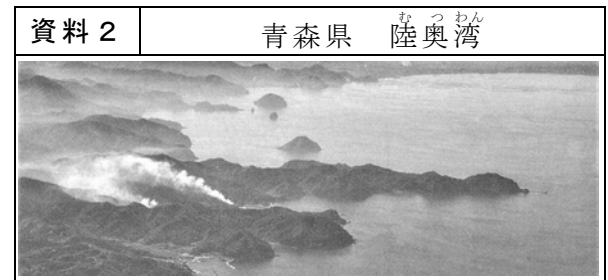
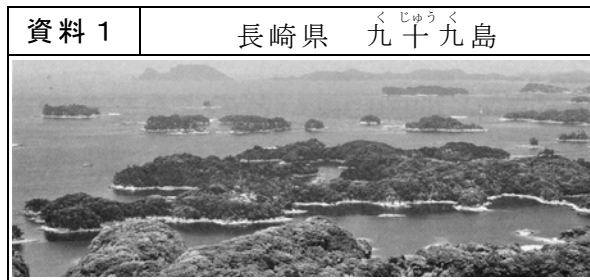


**2** 健太<sup>けんた</sup>さんは、日本の水産業の特色を学習しました。次の1～3の問いに答えなさい。

- 1 健太さんは、日本のまわりの海を流れる海流について調べ、暖流の黒潮と寒流の親潮がぶつかるところは、よい漁場になることが分かりました。黒潮と親潮がぶつかる漁場の海に面している県を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 福島県                      イ 栃木<sup>とちぎ</sup>県                      ウ 福井県                      エ 秋田県

- 2 健太さんは、資料1、2を参考にレポートをまとめました。下の健太さんのレポートの①、②に入る適切な語句の組み合わせを、下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



健太さんのレポート	
日本は、およそ 6800 の島々からなりたっている。また、多くの湾や入江 <sup>いりえ</sup> がある。資料1や資料2のような島や湾・入江が多い地形では、① 特徴を生かし② が盛んであることが多い。	

- ア ① 海の波が穏やかな                      ② 沖合漁業  
 イ ① 潮の流れが速い                      ② 沖合漁業  
 ウ ① 海の波が穏やかな                      ② 養しよく業  
 エ ① 潮の流れが速い                      ② 養しよく業

- 3 健太さんは、九州各県の林業や漁業で働く人の数と 65 歳以上の割合について、資料3、4にまとめました。資料3、4の説明として最も適切なものを、下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料3	林業で働く人の数（2015 年）	
	働く人の数	65 歳以上
福岡	960 人	20.7%
佐賀	453 人	12.1%
長崎	596 人	15.8%
熊本	2603 人	18.3%
大分	1743 人	23.5%
宮崎	3194 人	19.2%
鹿児島	1983 人	15.1%
沖縄	205 人	7.8%


資料4	漁業で働く人の数（2015 年）	
	働く人の数	65 歳以上
福岡	3941 人	33.1%
佐賀	3453 人	25.8%
長崎	11167 人	28.8%
熊本	4670 人	33.1%
大分	3331 人	36.7%
宮崎	3080 人	22.8%
鹿児島	5130 人	23.8%
沖縄	2616 人	18.6%

（「政府統計資料」より作成）

- ア どの県も、林業で働く人の数より、漁業で働く人の数の方が多い。  
 イ 林業で働く人の数が一番多いのは、熊本県である。  
 ウ 漁業で働く人の 65 歳以上の割合が最も少ないのは、宮崎県である。  
 エ どの県も、林業で働く人より、漁業で働く人の方が 65 歳以上の割合は高い。



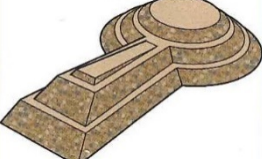
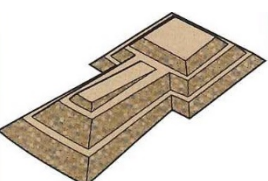
3 後の1～10の問いに答えなさい。

- 1 弥生時代のくらしについて、資料1のようにまとめました。まとめの①，②に入る適切な語句の組み合わせを，下のア～エから1つ選び，記号で答えなさい。ただし，資料中の①には同じ語句が入ります。

資料1	弥生時代のくらし
<p>復元された大型建物</p> 	<p>まとめ</p> <p>米づくりが広がっていくと，人々の生活の様子も大きく変わっていきました。佐賀県にある①遺跡は，1～3世紀ごろの弥生時代後期の遺跡で，集落のまわりを大きな二重の堀やさくで囲んでいます。</p> <p>左の写真は，①遺跡に復元されたもので，祭殿として使われ，強い指導者がいたのではないかと考えられています。</p> <p>むらの指導者は，強い力をもってむらを支配する②となっていました。</p>

- ア ① 吉野ヶ里 ② 豪族  
 イ ① 吉野ヶ里 ② 貴族  
 ウ ① 三内丸山 ② 豪族  
 エ ① 三内丸山 ② 貴族

- 2 日本各地には，古墳とよばれる遺跡が残っています。古墳は，九州地方から東北地方まで全国につくられ，さまざまな形のものがありますが，その中でも，大規模なものが見られる前方後円墳を，次のア～エから1つ選び，記号で答えなさい。

ア	イ	ウ	エ
			

- 3 聖徳太子の死後の政治について，資料2のようにまとめました。資料2の に入る適切な語句を答えなさい。

資料2	聖徳太子の死後の政治について
	<p>聖徳太子の死後，蘇我氏が天皇をしのぐほどの勢力をもちました。その様子を見た中大兄皇子と中臣鎌足は，645年に蘇我氏をたおし，中国から帰国した留学生や留学僧らの協力を得て，天皇を中心とする国づくりを始めました。</p> <p>この政治の改革を といいます。</p>



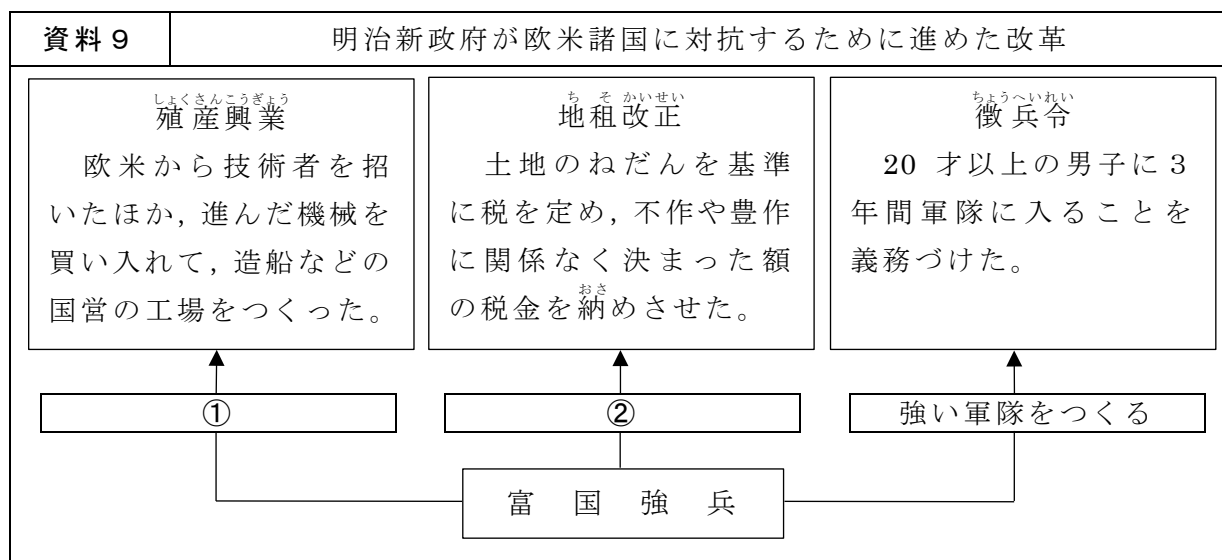


- 7 江戸時代のあるできごとについて、資料7、8のようにまとめました。資料8の  に入る適切な内容を、下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料7	鎖国までのあゆみ
年	主なできごと
1612	キリスト教を禁止する
1616	ヨーロッパ船の来航を長崎、平戸に制限する
1624	スペイン船の来航を禁止する
1635	日本人の海外渡航・帰国を禁止する
1637	島原・天草一揆が起こる
1639	ポルトガル船の来航を禁止する
1641	平戸のオランダ商館を出島に移す (鎖国の完成)

資料8	島原・天草一揆
<p>九州の島原（長崎県）や天草（熊本県）で、キリスト教の信者を中心に3万数千人もの人々が重い年貢の取り立てに反対して一揆を起こしました。</p> <p>徳川家光は、大軍を送ってこの一揆をおさえました。</p> <p>その後、 <input type="text"/></p>	

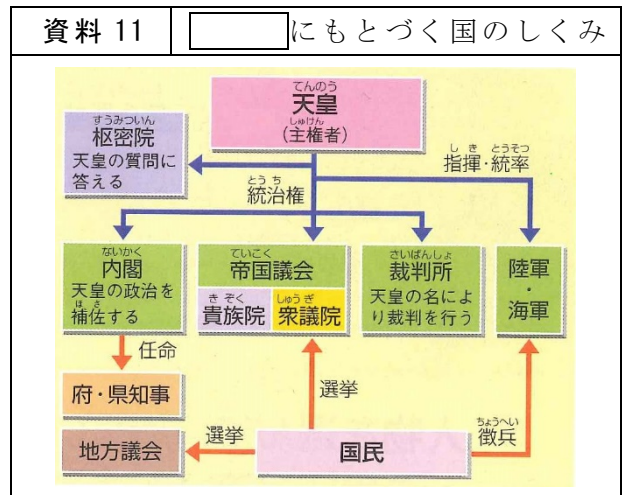
- ア キリスト教を広めるおそれのないスペイン船とポルトガル船に限り、貿易船の出入りを、幕府の港町である長崎に限って認めました。
- イ 強い力をもっていた仏教勢力と対抗するために、ヨーロッパから伝えられたキリスト教を保護し、キリスト教の学校を建てることを許しました。
- ウ 幕府は、寺社の勢力をうばうことなどをねらって、キリスト教を保護し、布教を認めました。
- エ キリストなどの像を踏ませる絵踏みを行って信者を発見し、キリスト教をいっそう厳しくとりしまりました。
- 8 明治新政府の新しい国づくりについて、資料9のようにまとめました。政府は、アジアに勢力をのばしてきた、イギリスやアメリカなどの欧米諸国に対抗しようと、富国強兵をめざし、そのためにさまざまな改革を進めました。資料9の ①，② に入る適切な内容の組み合わせを、下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



- ア ① 欧米と良好な関係を築く ② 国の収入を安定させる
- イ ① 欧米と良好な関係を築く ② 農民の負担を減らす
- ウ ① 工業をさかんにする ② 国の収入を安定させる
- エ ① 工業をさかんにする ② 農民の負担を減らす

- 9 資料 10, 11 の  に入る憲法の名称を答えなさい。ただし、資料中の  にはすべて同じ語句が入ります。

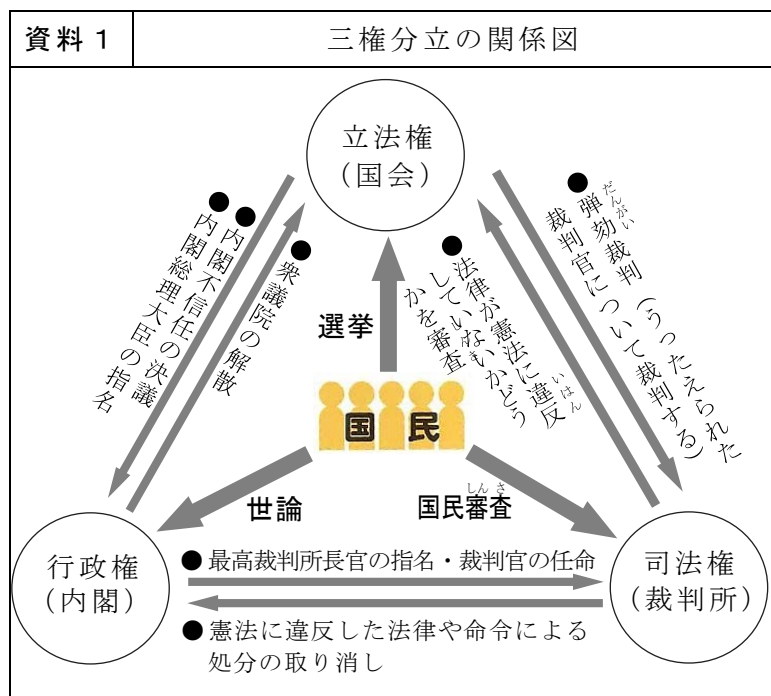
資料 10	<input type="text"/> の主な内容（要約）
第 1 条	日本は、永久に続く同じ家系の天皇が治める。
第 3 条	天皇は神のように尊いものである。
第 4 条	天皇は、国の元首であり、国や国民を治める権限をもつ。
第 11 条	天皇が陸海軍を統率する。
第 29 条	国民は、法律の範囲の中で、言論、出版、集会、結社の自由をもつ。



- 10 次のア～ウの写真は、昭和時代のできごとを表しています。次のア～ウの写真を古い順番にならべかえなさい。

<p>ア</p>	<p>アメリカのサンフランシスコで講和会議が開かれ、日本は、アメリカ・イギリスなど 48 か国と平和条約を結び、翌年に独立を回復しました。</p>
<p>イ</p>	<p>日本は、マレー半島のイギリス軍やハワイのアメリカ軍港を攻撃しました。こうしてアメリカやイギリスなどの国々と東南アジアや太平洋を戦場にして争う太平洋戦争になりました。</p>
<p>ウ</p>	<p>8 月 6 日に広島、9 日には長崎に、アメリカ軍が原子爆弾を落としました。1 発の爆弾で、いっしゅんにして何万人の命がうばわれました。</p>

- 4 <sup>しんすけ</sup>進介さんは、国の政治や世界の平和について学習しました。下の1～3の問いに答えなさい。



資料 2	① のおもな仕事
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国のきまり（法律）を定める。</li> <li>○ 国の収入と支出（予算）を決める。</li> <li>○ 外国と結んだ条約を承認する。</li> <li>○ 憲法改正を国民に提案する。</li> </ul>	

- 1 資料 1 は三権分立の関係を示したものです。資料 1 から読み取ることができるものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国会は、法律が憲法に違反していないかどうかを審査することができる。  
 イ 国民は、国民審査によって内閣総理大臣を選ぶことができる。  
 ウ 内閣は、衆議院を解散することができる。  
 エ 裁判所は、内閣不信任の決議を行うことができる。

- 2 資料 2 は、進介さんが、国会・内閣・裁判所の中から 1 つ選び、おもな仕事をまとめたものです。資料 2 の ① に当てはまる語を答えなさい。

- 3 進介さんは、世界には多くの課題があり、それらの課題解決のため、さまざまな機関や人々が連携・協力していることを学びました。次の文章中の ② に当てはまる語を、下のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

② は、教育・科学・文化の分野で国際協力を盛んにし、世界の平和と安全に役立てることを目的とした国際連合の中の組織です。鹿児島県にある縄文杉はこの組織によって、世界遺産に登録され保護されています。

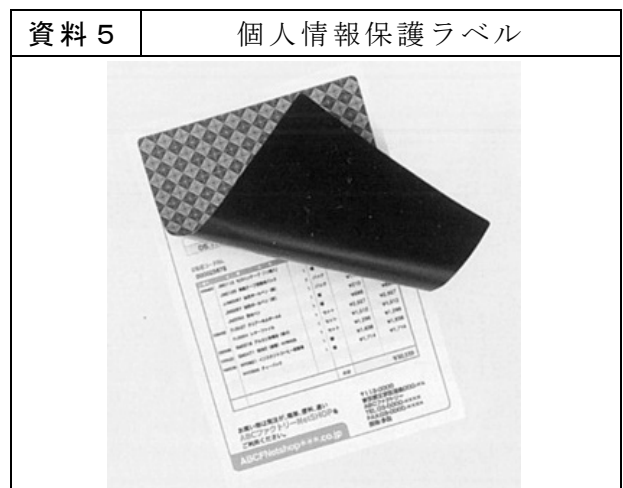
- ア ユネスコ  
 イ NGO  
 ウ ユニセフ  
 エ 青年海外協力隊



- 5 <sup>あんな</sup> 杏奈さんたちのグループは、日本国憲法について学習し、レポートにまとめました。  
下の 1, 2 の問いに答えなさい。

資料 1	杏奈さんたちのグループのレポート
<p>&lt;日本国憲法について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国のきまりの中で最高のもので、すべての法律は、憲法をもとにつくられている。</li> <li>○ ① 国民主権, ② 基本的人権の尊重, ③ 平和主義という三つの大きな原則がある。</li> <li>○ さまざまな国民の権利が保障されているだけでなく、④ 国民が果たさなければならない義務についても定められている。</li> </ul>	

- 1 次の資料 2～資料 5 は、資料 1 の下線部①～③のどの原則と最も関連していますか。  
資料 1 の下線部①～③から 1 つ選び、番号で答えなさい。



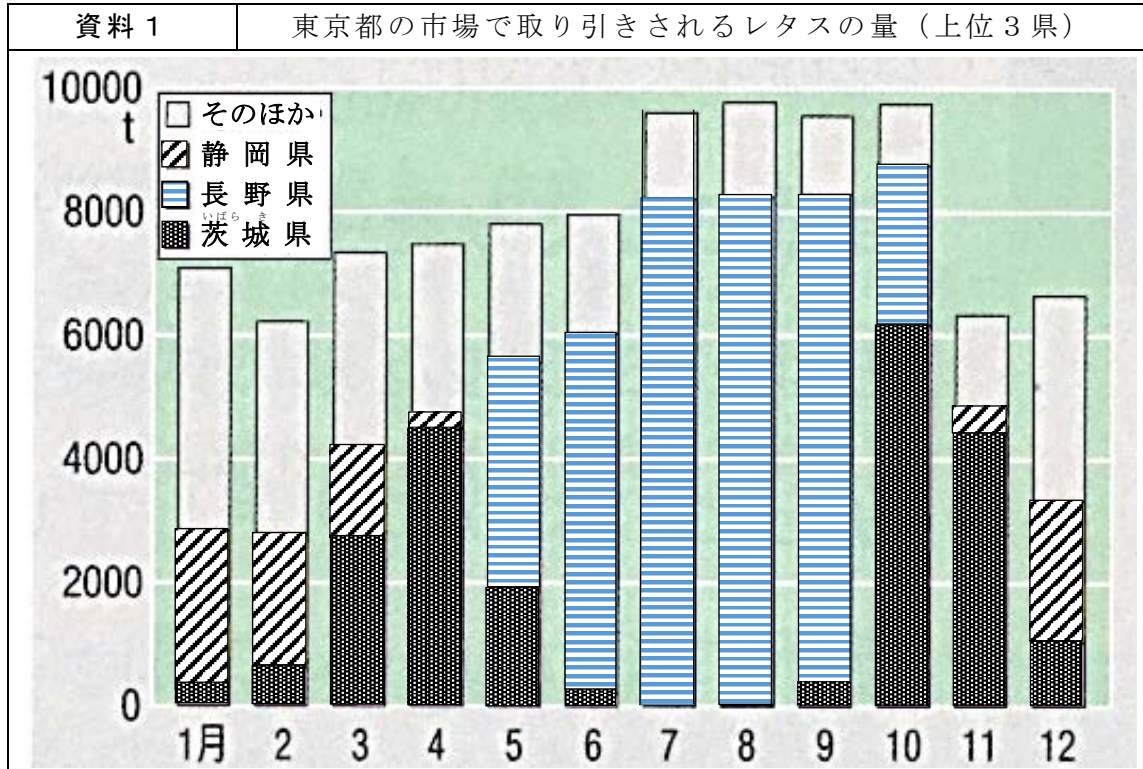
- 2 資料 1 の下線部④について、国民が果たさなければならない義務として、適切でないものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア 子どもに教育を受けさせる義務
- イ 税金を納める義務
- ウ 働く義務
- エ 裁判を受ける義務

## B 問 題

時間（20分）

- 1** 陸さんたちのクラスは、日本の農業について学習しました。後の1～2の問いに答えなさい。



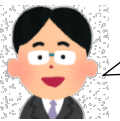
先生

みなさん、資料1のグラフを見てください。グラフ中の3つの県の中で、どの県のレタスの取引量が多々多いですか。

はい。長野県の取引量が一番多いと思います。



陸さん



先生

そうですね。長野県のレタスは、特に野辺山というところて生産されているのですよ。では、長野県の取引量が他の2つの県より多々なるのは、何月から何月までですか。

はい。 ① 月から ② 月まで取引量が多々なります。



瑞希さん



先生

そのとおりですね。でも、みなさん知っていますか。実はレタスは、暑さに弱い野菜なのですよ。

先生。では、なぜ長野県は、 ① 月から ② 月頃に、レタスの取引量が多いのでしょうか。



裕子さん

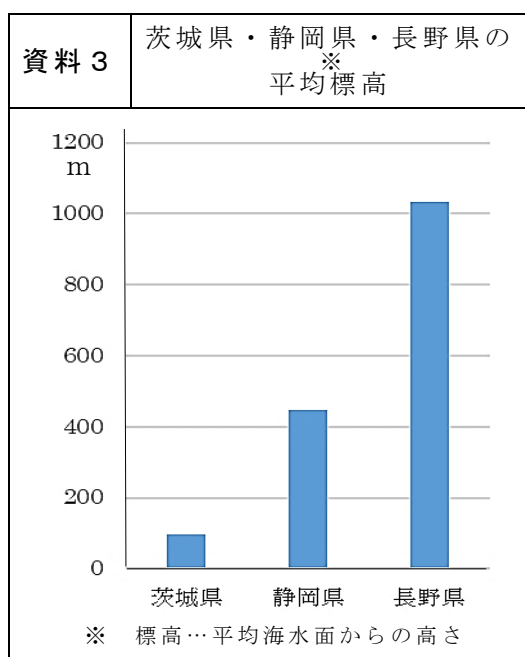
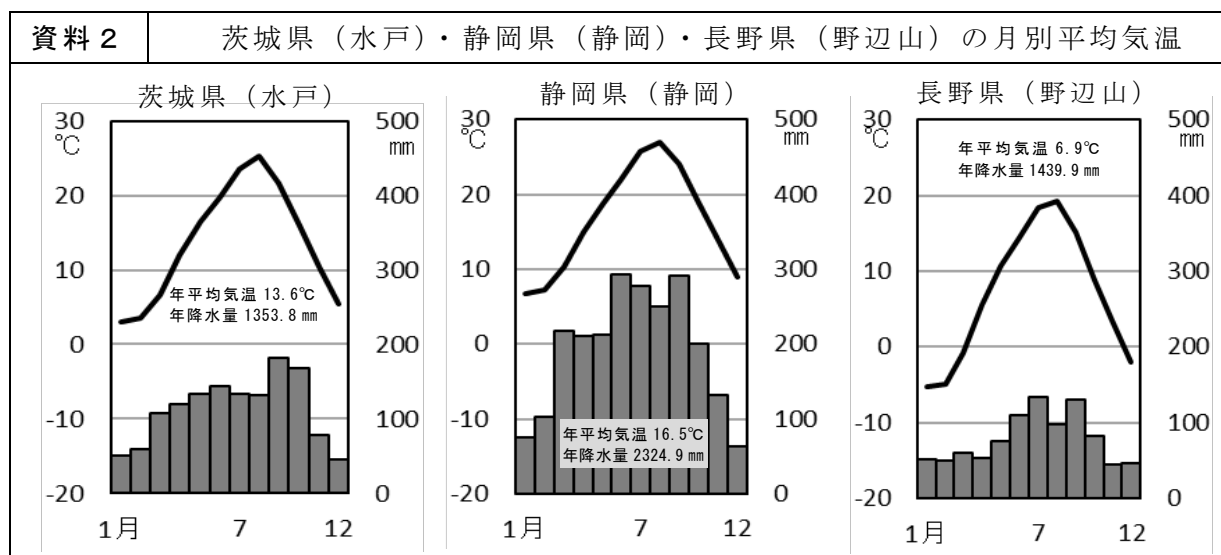


先生

そうですね。では、その疑問を今日の学習問題にして、みんなで一緒に考えていきましょう。

1 資料 1 に関する陸さんたちの会話文の ①, ② に当てはまる数字を、それぞれ答えなさい。

2 陸さんたちは、先生から配付された資料 2, 3 をもとに学習問題についての仮説を自分で考え、その後、グループで考えをまとめました。資料 2, 3 をもとに、陸さんたちの考えたことの A, B に当てはまる適切な内容を答えなさい。



### 陸さんたちの考えたこと

資料 2 から、長野県がレタスの取引量が多い ① 月から ② 月頃は、長野県以外では A ので、レタスの取引量が少なくなるのだろう。一方、資料 2, 3 から、長野県は B という立地条件を生かして多くレタスを生産することができ、それらを東京などの大都市へ出荷しているから取引量が多いのだろう。

- 2** いずみさんたちのクラスは、鎌倉時代の武士による政治について学習しました。後の1～3の間に答えなさい。

資料 1	元との戦い																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資料 2</th><th>鎌倉時代に関する年表</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一一六七</td><td>源頼朝が征夷大将軍となる</td></tr> <tr> <td>一一八五</td><td>増元浦の戦いで平氏がほろびる</td></tr> <tr> <td>一二六七</td><td>平清盛が太政大臣になる</td></tr> <tr> <td>一二九二</td><td>源頼朝が征夷大将軍となる</td></tr> <tr> <td>一二七四</td><td>元がせめてくる</td></tr> <tr> <td>一一八一</td><td>再び元がせめてくる</td></tr> <tr> <td>一一三三</td><td>鎌倉幕府がほろびる</td></tr> <tr> <td>一一三二</td><td>承久の乱が起こる</td></tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">A</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">B</div> </div>	資料 2	鎌倉時代に関する年表	一一六七	源頼朝が征夷大将軍となる	一一八五	増元浦の戦いで平氏がほろびる	一二六七	平清盛が太政大臣になる	一二九二	源頼朝が征夷大将軍となる	一二七四	元がせめてくる	一一八一	再び元がせめてくる	一一三三	鎌倉幕府がほろびる	一一三二	承久の乱が起こる
資料 2	鎌倉時代に関する年表																		
一一六七	源頼朝が征夷大将軍となる																		
一一八五	増元浦の戦いで平氏がほろびる																		
一二六七	平清盛が太政大臣になる																		
一二九二	源頼朝が征夷大将軍となる																		
一二七四	元がせめてくる																		
一一八一	再び元がせめてくる																		
一一三三	鎌倉幕府がほろびる																		
一一三二	承久の乱が起こる																		



先生

資料 1 の元との戦いについてふり返ってみましょう。元軍との戦いについて知っていることを発表してください。



いずみさん

元軍は、2度にならって九州北部におしよせてきました。このことを<sup>げんこう</sup>元寇と言います。

時の執権は北条時宗ほうじょうときむねでした。元が何度も日本に使者を送って来て元に従わせようとしたしましたが、時宗はこの要求を退けましたので、元軍が日本に攻めてきたのだと思います。



ようへい  
洋平さん

元軍は集団戦術や火薬兵器（てっほう）などを使って戦いました。御家人（武士）たちはとても苦しめられました。



ともひこ  
智彦さん



先生

なるほど。それでは、その元との戦いの結末はどうなったのでしょうか。

御家人たちの激しい抵抗や暴風雨などにより、元軍は大きな被害を受けたため、大陸に引き上げました。



麻里さん



先生

ということは、日本は元との戦いに負けたわけではなかったのですね。では、資料2を見てください。元との戦いの後はどうなっていますか。

しばらくして、鎌倉幕府はほろびています・・・。



いずみさん



先生

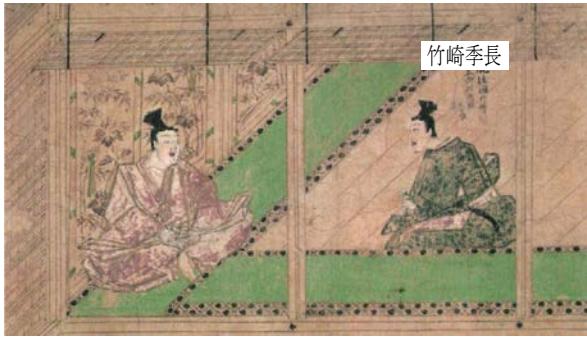
そうですね。ではみんなで、今日の学習問題を決めていきましょう。



- 1 いずみさんたちのクラスは、資料 1，2 をもとに発表し合った内容をふまえて、学習問題を設定しました。「なぜ、幕府は」の書き出しに続けて、「元との戦い」という語句を使い、 に当てはまる適切な内容を答えなさい。

いずみさんたちのクラスの学習問題	
なぜ、幕府は <input type="text"/>	のだろうか。

- 2 いずみさんたちは、学習問題についてそれぞれ予想した後、先生から配付された資料 3，4 をもとに自分で考え、その後、グループで考えをまとめました。資料 3，4 をもとに、考えたことの  に入る適切な内容を答えなさい。

資料 3	役人にほうびを求める竹崎季長 <sup>たけざきすえなが</sup>
 <p>竹崎季長は、幕府がほうびをくれなかつたので、自ら鎌倉まで行き、必死に自分の手がらをうったえました。</p>	

資料 4		さまざまな戦いと恩賞材料 <sup>おんしょう</sup>
戦い	状況	恩賞材料
源平の戦い <sup>げんぺい</sup> (1180~85)	平氏がほろびる	平氏側の武士の土地 500 か所をうばう
承久の乱 <sup>じょうきゅう</sup> (1221)	幕府の力が弱まる	朝廷側の武士の土地 3000 か所をうばう
元寇 <sup>げんこう</sup> (1274・1281)	元軍が大陸に引き上げる	元軍を追い払うが、うばった土地はなし



いずみさんたちが考えたこと
<p>資料 3 から、元との戦いで活躍した御家人たちは、幕府に対してほうびを求めたが、資料 4 から、<input type="text"/> ため、幕府に対して不満をもち、幕府と御家人との関係がくずれたからだろう。</p>

- 3 いずみさんのクラスでは、学習のふり返しとして、先生から 4 枚のカードをもらいました。資料 2 の年表中の **A**，**B** の期間の「将軍（幕府）と御家人の関係」を示しているものを、次の **A**～**E** からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

